

Q<sub>0</sub> 岡義博法律事務所報 第21号

高松市丸の内10番1号大和生命ビル4階

TEL (087) 821-1300

FAX (087) 821-1833

## 戦争

所長 弁護士 岡 義博

「これは戦争である」とブッシュ大統領は述べた。9月11日、ニューヨークの世界貿易センタービルのツインタワーとワシントンの国防総省の建物などに対して、飛行機による同時多発テロが行われた。アメリカ国内では太平洋戦争の日本による真珠湾攻撃以来の出来事であるとも報じられている。アメリカの経済と、軍事の中枢をねらったこのテロ攻撃により数千人の被害者が出た模様である。日中は5万人もの人が勤務するというこのツインタワーの中に、テロ時に何人の人間がいたのか正確にはわからないが、信じられない位、多数の人が犠牲になったのは間違いない。その意味では正に戦争である。

アメリカ政府は、このテロに対する報復を言明し、主要容疑者はイスラム原理主義者のビンラディン氏のグループであると発表した。世間は、このテロの背後には、アラブとイスラエルの対立、それに対するアメリカの関わり方が関係していると見ている。アラブとイスラエルの対立は2千年にも及ぶ宗教的な対立（イスラムとユダヤ）が背後にあり、両者の間では幾度も戦争が繰り返されている。アメリカはこの中東紛争の解決に乗り出していたが、イスラエル寄りの姿勢であることは以前から指摘されていた。アラブ側はこ

のアメリカの姿勢に不満を持っており、イスラム原理主義者のビンラディン氏によって、これまで同じ貿易センタービルの爆破事件やアメリカ大使館爆破事件が引き起こされてきたと報じられている。

アメリカはテロに対する報復攻撃のために4兆円を超える予算を投じる議決をした。また、5万人の予備役の召集も決めた。まさに戦争状態に突入である。

確かにテロ行為は許されるべきものではない。飛行機をハイジャックした上、多数の人が勤務する民間ビルに激突し、多数の人間を巻きぞえにする行為は、人命を軽視するもので人道上許し難いものである。アメリカが人道的見地からテロの撲滅を行おうとしていることは理解できる。

しかし、アメリカの行動の奥には復讐という感情も混じているのではないか。アラブとイスラエルの争いは肉親を殺されたことに対する復讐という感情があり、それが血を血で洗う報復となって紛争が繰り返されてきたのではないか。今回もアメリカの対応次第では民間人を巻き込むことになり、報復に対するさらなる報復が繰り返されることにもなりかねない。

憎しみからは平和は生まれない。冷静に。



## 法の女神・テミス

この像は、ギリシャ神話の「法の女神」テミス (Themis ...ギリシャ語で、「掟」「習慣」「法」「正義」を意味します) を形どったものです。

右手に掲げるはかりは、公平を象徴するとともに、悪の重さをはかり、剣は力による貫徹を象徴し、目隠しは無私をあらわすものといわれています。

この春から個人再生手続という法律が施行されました。民事再生法は数年前に作られていましたが、そのうちの小規模な個人の再生について特則を定めたのが個人再生手続です。従って、会社などの法人は対象になりません。

この手続を一口で言うと、借入金がふくらんで支払が困難になった個人が債務の一部を分割弁済することによって残額は免除を受けるといったものです。多額の債務を抱えた人が一部を弁済することで再生しようというものなのです。このような人は自己破産をする人が多いのですが、中には支払いをしようという人もいます。そのような支払意思のある人が利用するのがこの手続です。

個人再生手続は、小規模個人再生手続と給与所得者等個人再生手続に分かれますが、まず小規模個人再生手続から説明します。

この手続は、無担保の負債総額が3000万円以下で、将来において継続的又は反復的に収入を得る見込みのある人が対象となります。支払不能になるおそれのある人が、所定の資料を付けて裁判所に申立をすると、上記の3000万円以下の要件、継続的又は反復的収入の要件があれば、手続が開始されます。

裁判所は債権者に対し、債権の届出をさせます。届出された債権に異議がある場合は債権の評価をし、その額を裁判所が決定することになります。

## 身近な法律シリーズ (21) 個人再生手続

他方で、債務者は自から再生計画を作成し、裁判所に提出します。再生計画の内容は負債額の5分の1以上又は100万円のどちらか多い額を弁済するというものでなければなりません。例えば負債額が300万円の人は、その5分の1は60万円ですが、100万円の方が多額なので、最低100万円は弁済しなければなりません。但し、負債の5分の1の金額が300万円を超えるときは上限は300万円になります（負債が3000万円でも600万円弁済する必要はないわけです）。また、弁済額は破産した場合の配当額を上回る必要もあります。こうした最低の弁済額を、原則として3年間で分割弁済するという内容の再生計画案になります。

そして、債務者の作成した再生計画案について、債権者が書面決議をします。債権者集会は開かれませんが、書面決議で不同意の債権者が半数を超えず、かつ議決権総額の2分の1を超えなければ再生計画案は可決されることとなります。再生計画案が可決されれば法所定の要件がない限り、裁判所は再生計画を認可することになります。弁済するという申出に対し、反対する債権者は多くないでしょうから（破産になったら通常は配当はないから）、不同意者が半数を超えることはまずないでしょう。従って、可決、認可されるのが原則となるでしょう。

認可されるとあとは、再生計画に従って分割弁済をしてゆくこととなります。

## 高松ウォッチング

事務局 E・O

暑い夏の日、体調をくずし、病院へ行った。「いつから？どんな症状ですか？体重は？」などの問診に子供たちが答える。私達や看護婦さんの見守る中、診察が始まった。「うーん、これは菌が腸に入ってそれが脳にまでまわっていますね。まず重傷のところから、治療していきましょうね。」やれやれ。子供たちもほっと一安心の様子。

さて会計。看護婦さんが「はい、お疲れさま。2800円でーす。」私は耳を疑った。900円で買ったハムスターの治療費。「なんでー。このお金で3匹買えるのにー」帰りの車中は、私の殺気を感じたのか子供たちは無言…。実は一週間ほど前からホワ（ハムスターの名前）の調子が悪く、子供に小動物病院（娘が親切なご学友に教えてもらった）へ連れていってくれとせがまれていたのです。

我が家に帰り、まずお薬。看護婦さんの言葉を思い出す。「一日3回、冷蔵庫に入れておいて、飲ませるときは、常温に戻してから与えて下さいね。」あほらしー、と思いつつ2ミリの薬をホワにやるのにおおわらわ。先生も看護婦さんも実に親切に色々教えてくれました。

さて次は、ハウスの大掃除をして、子供たちと室温計をもって家中ウロウロ。帰宅した主人が「なにしょんやー」と質問。「病院の先生に言われたんやけど、部屋は毎日掃除をして清潔に。風通しがよくて常時湿度50%、室温25度の所においてやって下さいやてー。そんなところ探しとるんやけどー」と私。「あほかー。そんなええとこ、何処にもないわ。あったらわしがおそこに住むわー！」



## 外部の方からの投稿です

# エトセトラ

事務局 T・I

猛暑を乗り越え、やってきました食欲の秋。しかし、この食欲の秋に甘えていると、とても後悔しそうなのです。いや、後悔するのです。「ダイエット!!」。毎年繰り返される行事のようなものですが、運動は続かないし、なかなか解消されません(歳と共に)。そこで、今度はお蔵にしていた自転車に目を付け、乗ってみることにしました。なんと爽快な乗り心地! 讃岐人の血は自転車を忘れていませんでした(香川県は自転車保有台数全国第5位

だそうです)。地球温暖化が問題とされている今、自転車が見直されてきています。種類もママチャリから電動自転車まで様々。気候に左右されやすい乗り物ですが、また、季節の変わり目などを感じやすい乗り物でもあり、健康プラス環境問題と一石二鳥の自転車は、ヨーロッパでも多くの方が利用しているようです。放置自転車と安全運転に気を付ければ、是非おススメの乗り物です。ダイエット効果の方は・・・ですが。

## セントーサ島

この夏、家族旅行でシンガポールへ行った。2泊はシンガポール沖合いのセントーサ島である。ここにはマーライオン・タワーや長いトンネル水槽のある水族館やイルカのショーなど、子供の喜びそうな所がたくさんある。

関空から飛ぶこと6時間、シンガポールへ。迎えのバスで30分ほど走り、セントーサ島のホテルへ。もう夕方だ。今日は島内のシーフードセンターで食事をし、その後ライトアップや噴水ショーで有名なミュージカル・ファウンテンに行く予定。時間があればマーライオンタワーにも昇ろう。モノレールで行くのが便利だ。駅はホテルから少し離れた所にある(下調べはバッチリ)。

駅までの道順を聞こうとフロントに電話する。現地語で喋るので日本語のわかる人に代わってくれと伝える(日本語で)。代わった人は英語を喋りだす。駅への道順を聞くが、返事がさっぱり分からない。いや、向こうがこっちの言っている英語が分からないのだ。電話を切って直接フロントへ行く。身振りも混じえて聞くと、バスでモノレールの駅まで行けという。しかし、手元の地図(ホテルのロビーで入手)ではバスは島内を一方通行で回っており、モノレールの駅は一周して戻ってきた所にある。おかしい。しかし、歩いて行くには、辺りはもう暗くなり始めている。仕方なくバスを待つ。緑色のバスだというが、一向に来ない。腹は減ってくるし、途方に暮れている所に、天の助け。荷物を運んでくれたホテルの従業員が、親切にもホテルのバスで送ってくれるという。ああ、あの時チップを渡しておいて良かった。

バスで5~6分、ミュージカルファウンテンに到着。道順まで教えてくれる(チップの効果は絶大だ)。もちろん、この時もチップを大枚はずみました。

7時についたので、7時半からの噴水ショーに十分間に合う。先に食事をしよう。予定し

ていたシーフードレストランではないが、ガイドブックに載っているフードセンターだ。しかし、そこは、屋台村のような所で、食べ物は何も油っこいものばかり。現地の人とおぼしき人達で熱気ムンムンだ。暑さと湿気と熱い食べ物で汗だくだ。しかも、早朝高松を発って、休む間もなかった。食欲がわからない。早くも旅の疲れを感じる。食事も早々に噴水ショーを見に行くが、人であふれている。ショーもそこそこにホテルへ帰ることにする。マーライオンタワーどころではない。

帰りはバスで帰るのが早い。我々の泊まるビューフォートホテルまですぐだ。少ししてバスが来る。混んでいるが座れる(やれやれ)。停留所へ止まる度に人が乗り込んできて満員になる。大混雑だ。そのうち辺りの景色が変わってくる。何やら橋を渡ってシンガポールの市内に入ってきたようだ。停留所ごとに人が降りてゆく。乗り越したのだろうか。不安。とうとう終点らしき所へ着いてみんな降りてしまった。バスに残っているのは我々家族だけ。運転手が怪訝な顔で近寄って来て何やら話しかける。何を言われているのかさっぱり分からない。ビューフォートホテルに行きたいのだと懸命に訴える。運転手は、間抜けな奴が乗り越したのだなと理解したらしく、運転席へ引き上げる。料金も請求しない。

やがてバスは出発し、再びセントーサ島へ。今度は乗り越すまいと必死で停留所の看板を見る。アナウンスを聞く。地図の駅名をにらむ。いよいよ次がビューフォートホテルだ。やっと着いた。やれやれ。こうして我々は無事(?)ホテルにたどり着くことができたのである。

翌日わかったことは、このバスは同じ停留所名でも道をはさんで両側に停留所があり、我々は島を出て行く方向の停留所でバスに乗り込んでいたのであった。皆さん、気を付けましょう(Y・O)

## YOUNG - MAN!

事務局 H・S

鶏をペットにしませんか? 高知県畜産試験場がペット用の小型鶏「**プチコッコ**」を開発しました。体重は約1キ口と普通の鶏の半分程度で、色は茶色。性質は人懐っこく、鳴き声は声高く鳴くのは産卵後のみ(普通の鶏と同じように卵を産む)。日常は小さくクウクウと独り言をいっています。おとなしいので室内で飼うことも可能(室内飼育用のオ

ムツあり)。行動もゆっくりしているので、逃げ回る鶏を追いかけ回すような必要はないようです。ある程度人慣れすると、ほとんど突つかれる心配はなく、餌を手で与える際、くちばしが手にあたっても気にならない程度になるそうです。そんな**プチコッコ**は今年中に全国で発売予定。1羽3千円~5千円ですよ!

